

徳島大学消化器移植外科 大腸外科 診療のご案内

◇はじめに

当科では大腸癌などの悪性疾患の他、クローン病、潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や、種々の良性疾患の治療を行っております。手術治療だけではなく、大腸癌に対する抗癌剤治療も積極的に行ってまいります。当科では**6人の内視鏡外科技術認定医（胃3名、大腸3名）が所属し、診療を行っています。**

◇当科の特徴

1. 低侵襲手術・機能温存手術：当科では患者さんに負担の少ない手術を提供することを目指して、**腹腔鏡手術、ロボット支援手術に積極的に取り組んでいます。**2018年には122例の大腸癌手術（直腸癌41例）を行い、ロボット手術は12例行いました。直腸癌に対するロボット手術は2018年9月より保険診療として行っております。

2. 下部直腸癌について

下部直腸癌では根治性、QOLの維持、合併症軽減、患者様のご希望などのバランスを考量した治療法を選択しています。術前化学放射線療法（CRT）や経肛門的直腸間膜全切除術（TaTME）などを積極的にいき、肛門温存を目指した取り組みを行っております。

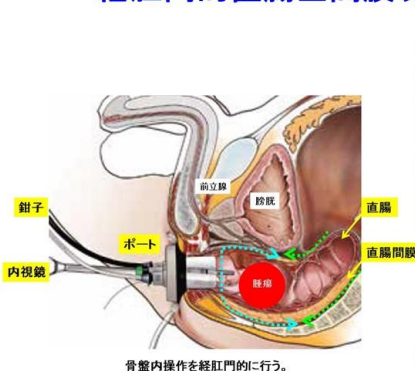
① **術前化学放射線療法（CRT）**：局所進行下部直腸癌に対し、術前CRTを行うことで肛門温存率の上昇や局所再発率の減少などが期待されます。当院ではSOX + Bevacizumabによる化学療法と放射線療法を組み合わせることで良好な成績を治めております。

② **経肛門的直腸間膜全切除術（TaTME）**：肛門に近い腫瘍に対し、経肛門的に直腸を鏡視下に剥離していく方法です。より確実に腫瘍肛門側断端距離を確保することができ、局所再発率の減少や肛門機能の温存などが期待されます。

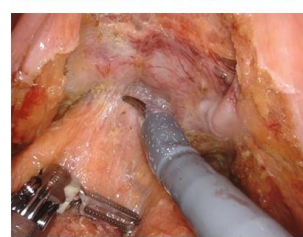
3. Stag IV大腸癌について

大腸癌はStage IVと診断されても、適切な化学療法や手術（肝切除や肺切除）を行うことで根治が期待できる症例があります。当院では肝臓外科、呼吸器外科などと密に連携し、**遠隔転移巣に対しても積極的に手術治療を行っております。**

経肛門的直腸全間膜切除術 (TaTME)



ロボット支援下直腸切除術



◇ロボット支援手術について

本年度より手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いたロボット支援下内視鏡手術について胃癌・直腸癌などの術式が保険適用となりました。当院でも、本年4月から胃癌、直腸癌のロボット支援手術を実施しております。ロボット手術のトレーニングを受けた内視鏡外科技術認定医が担当させていただきます。

適応症：胃癌：幽門側胃切除、胃全摘、噴門側胃切除
直腸癌：直腸癌手術